

生態園マップ～2020秋編～

きせつ

季節のできごと

しゃじりん いくせいりん

・社寺林や育成林にはたくさんの種類の樹木があります。いろいろな「ドングリ」を

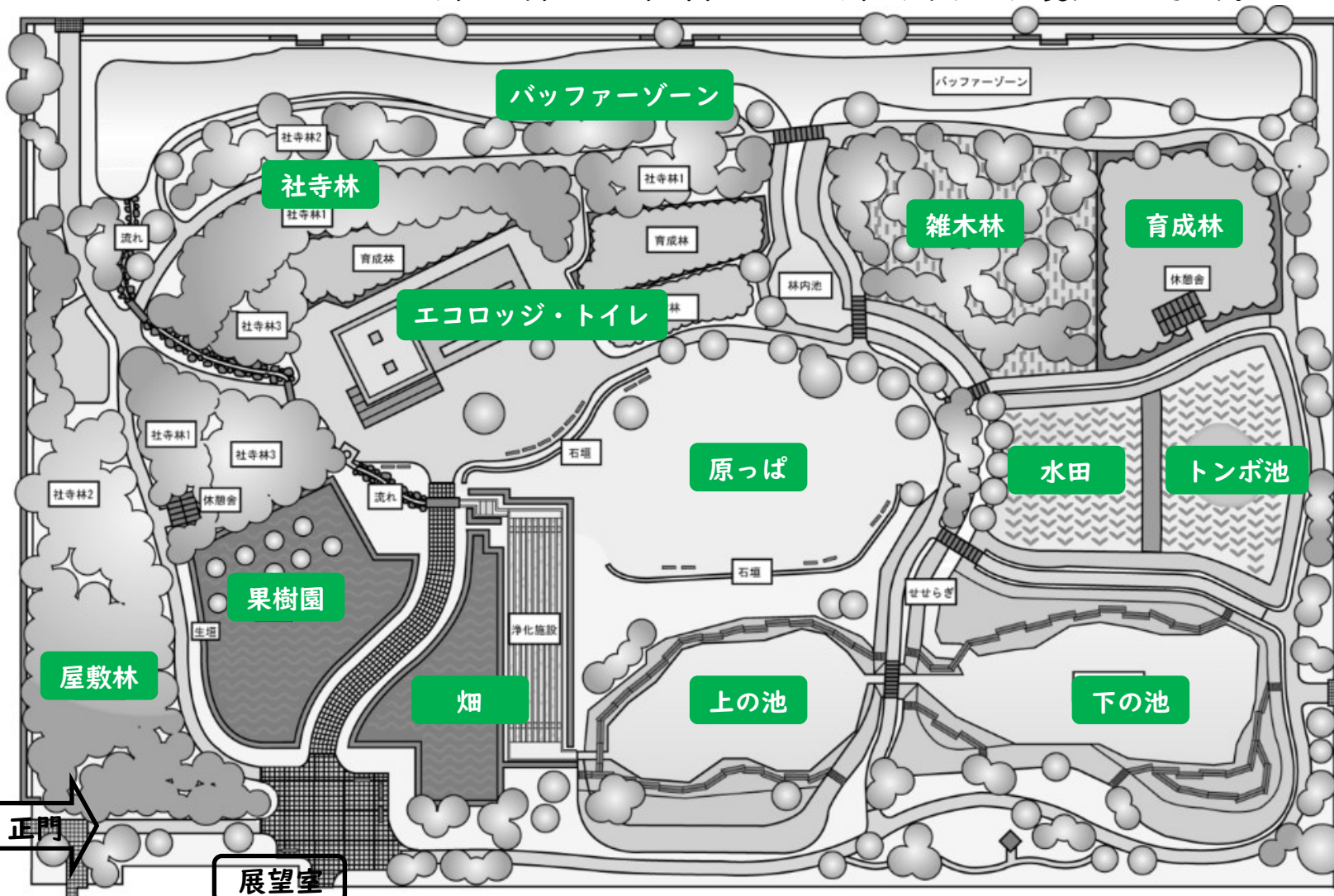
探してみませんか

せみしぐれ おししぐれ はら みちぞ じゅもく すこ はや くさもみじ たの

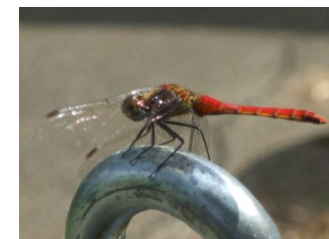
・蟬時雨から虫時雨へ。原っぱや道沿いに、樹木より少し早めに草紅葉が楽しめます

ひびへんか

・エコノコログサ、ススキ、イヌタデ、イネ、ヘクソカズラ、クサギなど日々変化していきます。



アキアカネ



もっと だいひょうてき

最も代表的なアカトン

ボ。羽化直後は赤くなく、

麦わらのような色をしてい

ます。30度を超えるような

平地では生きられないた

め、夏の間は涼しい山の上

で過ごします。秋になり、

体が赤くなってから群れて

平地に下りてきて、集団

産卵することで有名です。

「アカトンボ」は特定のト

ンボではなく、体が赤くな

るトンボ全てを指す俗称で

す。関東地方では、アキア

カネのことをアカトンボと

言うことが多いとされてい

ます。

き ドングリのなる木

ドングリとは、ブナ科の樹木になる果実の総称です。実の一部または全体を殻斗と呼ばれる、お椀のようなものに覆われているのが特徴です。一番外側の堅い皮は果皮で、渋皮のなかに種子があります。ドングリは種そのものではなく、果肉のない果実なのです。春に開花受粉し、その年の秋に実をつける1年成と、翌年秋に実をつける2年成などがあります。

シラカシ



冬の季節風を防いだり
防火のために、昔から神社
や屋敷のまわりに植えられ
てきました。木材が白っぽい
のでシラカシですが、実は、
比較的颜色が濃く、タンニンを
多く含んでいて渋いです。

コナラ



幹は薪にしたり、シタケのホダ木
に、落ち葉は水田に鋤き込んで、
肥料に利用されます。その実は、シラ
カシのドングリとよく似ていますが、
殻斗はうろこ模様(鱗片:りんぺん)
です。うろこ模様は他にマテバシイが
あります。



CESSチャンネル (Youtube)

「オモシロ情報」配信中



みの あき 実りの秋

生態園の秋は、“実りの秋”でもあります。果樹園の果物もそうですが、雑木林の中でも、自然の恵みを観察することができます。植物の果実は、鳥や生き物たちのご馳走にもなります。



5月頃



10月頃

カラタチ。中国原産で、高さ3mほどになる落葉
低木。4~5月、葉が展開する前に香りのある白い花を
咲かせます。花びらと花びらの間が広くあいている、
可愛らしい花です。枝には、太くて鋭い刺が付いてい
ます。夏には緑色の果実ができ、10月頃には黄色に
熟します。直径3~5cmの球形で、果肉は香りがよい
のですが、苦くて種子が多く、食用には不向きです。葉
はアゲハチョウの食草になります。



アキグミ。高さ2~3mの落葉低木。河原や原野、道
ばたなど、日当たりのよい所に生えます。葉には銀色の
細かい毛が密生し、白っぽく見えます。果実は秋に赤く
熟し、丸い小さな実がかたまっつきませんが、生態園で
はほとんど鳥に食べられてしまいます。根粒菌という根
に付く菌の働きで、空気中の窒素を取り込むことがで
きるため、荒地でも生育することができます。